

当会会員の（株）ワールド山内（北広島市）が、平成29年12月27日(水)付の、日刊工業新聞に紹介されました。

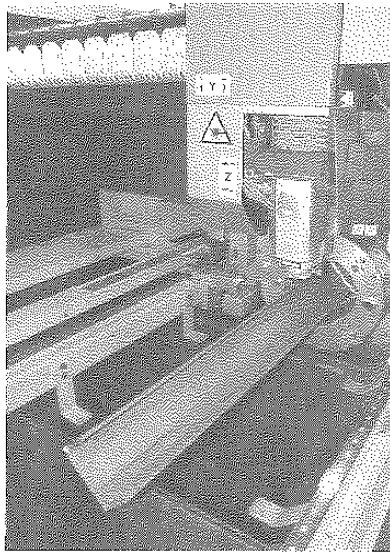
航空機関連の生産体制増強

ワールド山内

地域企業と連携 携 19年度売上高 倍増

【札幌】ワールド山内(北海道北広島市、山内雄矢社長、011・377・5766)は、航空機関連の部品の生産体制を強化する。機械設備を増強したほか、地域企業との連携による加工対応の拡充も進める考え。これらを含め、2017年3月期の売上高約15億円から、20年3月期をめどに倍増となる同30億円規模までの成長を目指す。

今回、パイプ用レーザー加工機とロボットドリル2台を導入した。総投資額は約1億3000万円。パイプ用レーザー加工機によって、



パイプ用レーザー加工機で複雑な構造物の加工にも対応

半導体製造装置の架台やフレームの形鋼を加工するほか、航空機関連や複雑な構造物の加工にも対応していく構え。

ロボットドリル2台の導入では、インフラ関連の量産対応とともに、航空機関連でコスト競争力を高めていく狙いだ。

航空機関連については、熱処理加工を手が

ける池田熱処理工業(札幌市東区)や、メッキ加工の札幌エレクトロプレイング工業(同西区)とも連携して幅広い加工対応ができるようにする。ワールド山内の山内社長は連携を生かして「北海道外の航空機関連の需要を取りにいきたい」としている。

ワールド山内は、板金加工や機械加工などから溶接、組み立てまで一貫して手がける。独自の生産管理システムを設けており、機械設備の稼働実績などのデータを収集・管理し、IoT(モノのインターネット)を活用した生産現場の「見える化」に力を入れている。

る。